

もっと！つながるサイネージ

京都総合観光案内所からリアルタイムな混雑状況を「もっと！つながるサイネージ」を利用して観光客へ発信

お客様導入事例

簡単操作

ライブ
対応可能

サイネージ

一括管理

公益社団法人 京都市観光協会様

公益社団法人 京都市観光協会
HP : <https://www.kyokanko.or.jp/>
電話 : 075-213-1717

公益社団法人 京都市観光協会様は、国土交通省観光庁が候補としてあげた「観光地域づくり法人 (DMO)」の中から 2017 年 11 月に初めて登録した 41 法人の 1 つで、認定以来、京都市の DMO として行政と一体になって観光振興に取り組まれています。

京都の玄関口となる JR 京都駅の駅ビル 2 階にある京都総合観光案内所（京なび）をはじめとして、京都市においては唯一観光の進行を目的にする団体として、京都ならではの観光資源を活用した事業の実施や観光情報の発信など、国際文化観光都市である「京都」の持続的な成長を関係事業者と共に作り上げていく日本の DMO のロールモデルとしても注目されています。



機器増設は最小限に且つコストも抑えたい

お客様はすでに 2 種類のサイネージシステムを 5 台のモニターで運用されており、増設にあたって 3 つの問題を解決する必要がありました。

・サイネージの更新作業をシンプルにしたい ・機器増設は最小限に抑えたい ・限られた予算内に収めてランニングコストも抑えたい

「もっと！つながるサイネージ」をスタートする場合、必要な機材はモニター（ブラビア）とインターネット環境、また操作端末（PC、スマートフォン、タブレット）があればすぐにスタート可能です。特別な機器を増設する必要はありません。また、既設で使用していたモニターには「もっと！つながるサイネージ」専用セットトップボックスである「つながるプレイヤー」を設置するだけで、モニターもそのまま活用できます。従来、2 種類のサイネージシステムをそれぞれ更新する必要がありましたが、必要な機能をすべて備えたもっと！つながるサイネージを採用することで、操作もシンプルになり、すべてのサイネージモニターを統一して管理することができるようになりました。

お客様の課題

- ・観光地を YouTube で配信したい
- ・リアルタイムで混雑状況などを確認できるようにしたい

MEDIAEDGE からのご提案

- ・Youtube 配信をそのまま利用できるサイネージ
- ・新規設置と既設の拡張いずれにも対応可能
- ・コストを抑えて効果的なサイネージを実現

今回当社からご提案させていただいた「もっと！つながるサイネージ」は Youtube をサイネージコンテンツとして登録し利用できるため、お客様が必要とされていた最大の導入条件をクリアしており、導入を決めていただいたとのこと。

Youtube でのライブカメラの配信は 上下で、エリアに分けて配信しています

現在、京都総合案内所内には、混雑状況がひと目でわかるように従来活用してきた市内9ヶ所の観光地の映像を Youtube で配信しているライブ映像を、新規に増設した2台のブラビアで表示しています。また、すでに設置されていた5台のモニターには、「つながるプレイヤー」を導入し、合計7台のデジタルサイネージを使用してご訪問いただいた観光客の方々に情報発信を行っています。導入にあたって比較検討していた他のサイネージシステムと比較して、コストを抑えることができただけでなく、シンプルで使いやすいユーザーインターフェイスですべてのサイネージ端末を管理できることになったことで作業も楽になり、非常に良かったとコメントをいただきました。



「もっと！つながるサイネージ」を 運用し簡単更新を実感

クラウドサービスでご提供させていただいている「もっと！つながるサイネージ」は、すべての操作をパソコンやスマートフォン、タブレットなどのブラウザから行うことができますので、デジタルサイネージの更新などの操作をどこにいても行うことができます。ご導入いただいた京都市観光協会様では、デジタルサイネージのために専任の担当者を設けることなく、観光案内所の各コーナー担当の方がそれぞれのアイデアを活かしてコンテンツの更新を行われているとのこと。操作が簡単なことと、担当者の端末で更新が可能なので使い勝手が良く、従来のシステムに比べて運用がとても便利になったそうです。また、従来のデジタルサイネージコンテンツで使用していた既存のデータの新システムの引き継ぎも可能だったため、非常に助かったとの評価をいただきました。



各種イベント等の動画も活用し 魅力向上を目指して

京都総合観光案内所に設置されたサイネージは、自然と観光客の目に留まりやすい案内所の入り口に設置することでアイキャッチになっており、イベント情報や各観光地の見所の紹介の他、新型コロナウイルス対策関連の情報も表示しています。また、案内所中央には市内のライブカメラ映像を表示しており、多くの観光客の方が足を止めて各種情報を見ていただけることから、新たに導入したデジタルサイネージの効果を実感されているそうです。京都市観光協会の YouTube チャンネルでは、ライブカメラの映像の他に各種イベントなどの動画も季節に合わせて配信しています。今後はこれらの動画もサイネージコンテンツとして活用することで、観光に来られたお客様により一層タイムリーな情報を提供していきたいと考えられているとのこと。日本三大祭の一つに数えられる祇園祭も3年ぶりに開催が決定したこともあり、4月以降多くの観光客が京都を訪れ

ることが予想されており、今後コロナウイルスによる入国規制が緩和されてインバウンドが再開した際の外国人観光客の訪問も見据えて様々な準備を進めていく一環として、今回のサイネージの更新を行われたそうです。

業務効率化の先は現場向上を 目指して

今は本社から拠点への一方通行でしか情報を発信できていませんが、今後は各拠点から各拠点の社員への情報共有ができる環境構築を目指しているとのこと。チルド食品物流サービスを行っているため、天気や高速道路、自然災害の情報は常に気にしています。このような情報を、エリアを超えた拠点間で素早く確認できる環境が必要不可欠です。『情報共有の公平性という意味で、サイネージですぐに情報共有できる環境があるのは大きいと実感している。拠点間の情報共有を「もっと！つながるサイネージ」を活かして、意欲的に行っていきたい』とおっしゃっていただきました。

運用イメージ



現時点の混雑状況や桜の開花状況等を見て、観光場所を決めることができます

本事例に対応した製品

